

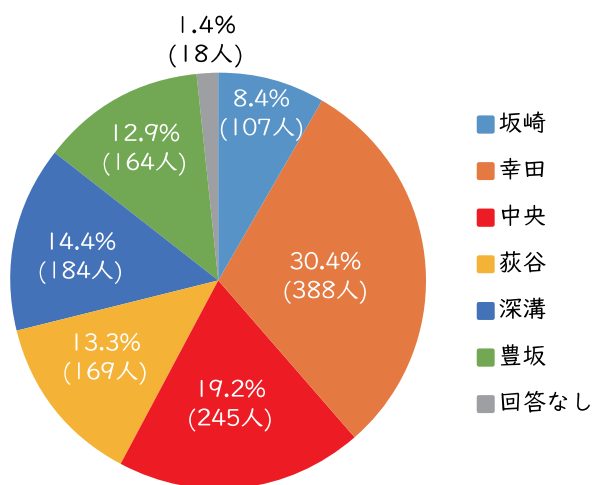
# 住民意識調査の結果を報告します

住民意識調査とは、町民の皆さんのまちづくりに対する考えをお聞きし、町政運営の参考にするを目的としたものです。

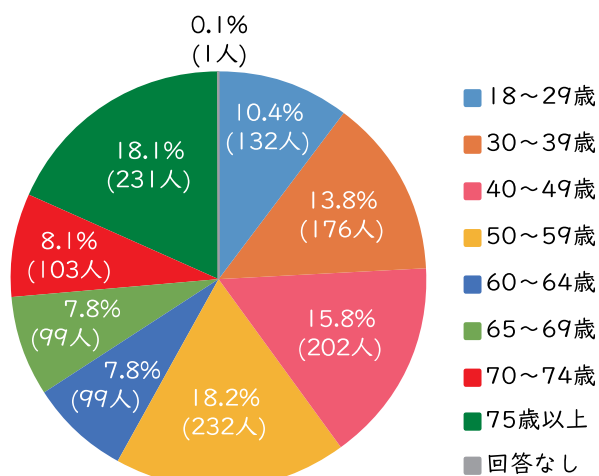
この調査は昭和54年から1年おきに実施し、今回で24回目となります。18歳以上の町民2,000人を無作為抽出し、1,275人（回収率63.8%）から回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

主な結果について報告します。

回答者の居住地（小学校区） 回答数：1,275



回答者の年代別内訳 回答数：1,275

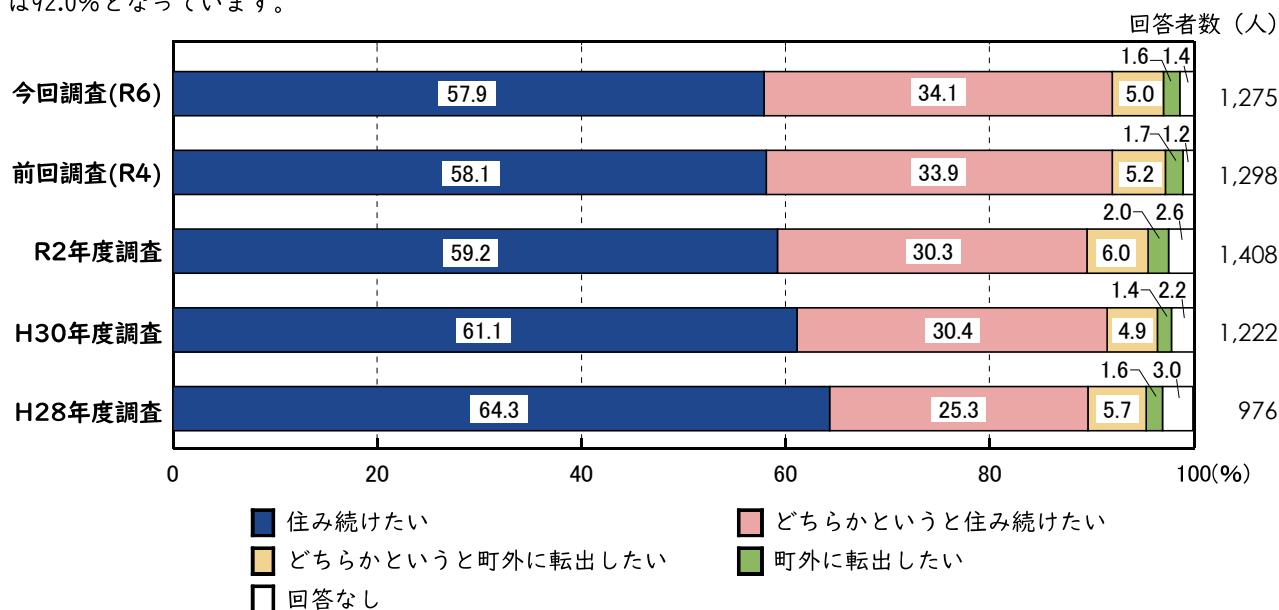


## 【幸田町に住み続けたいか？】

「住み続けたい」が57.9%と最も多く、「どちらかというに住み続けたい」の34.1%と合わせると、92.0%の人が町への定住を希望しています。

定住意向の経年変化をみると、「住み続けたい」は平成28年度調査の64.3%から徐々に低下し、今回の令和6年度調査では57.9%となっています。平成28年度調査からは、6.4ポイント低下しています。

「住み続けたい」と「どちらかというに住み続けたい」を合わせると、平成28年度調査の89.6%から、今回調査では92.0%となっています。



## 【施策の満足度・重要度、特に力を入れてほしい施策】

「第6次幸田町総合計画」に挙げられている施策について、現状の施策の満足度と重要度、特に力を入れてほしい施策を尋ねました。

| 施策の満足度 上位3項目 |            |
|--------------|------------|
| 順位           | 項目         |
| 1位           | 消防・救急体制の充実 |
| 2位           | 健康づくりの推進   |
| 3位           | 情報の発信と管理   |



| 施策の重要度 上位3項目 |              |
|--------------|--------------|
| 順位           | 項目           |
| 1位           | 交通安全・防犯対策の強化 |
| 2位           | 防災体制の強化      |
| 3位           | 医療体制の充実      |



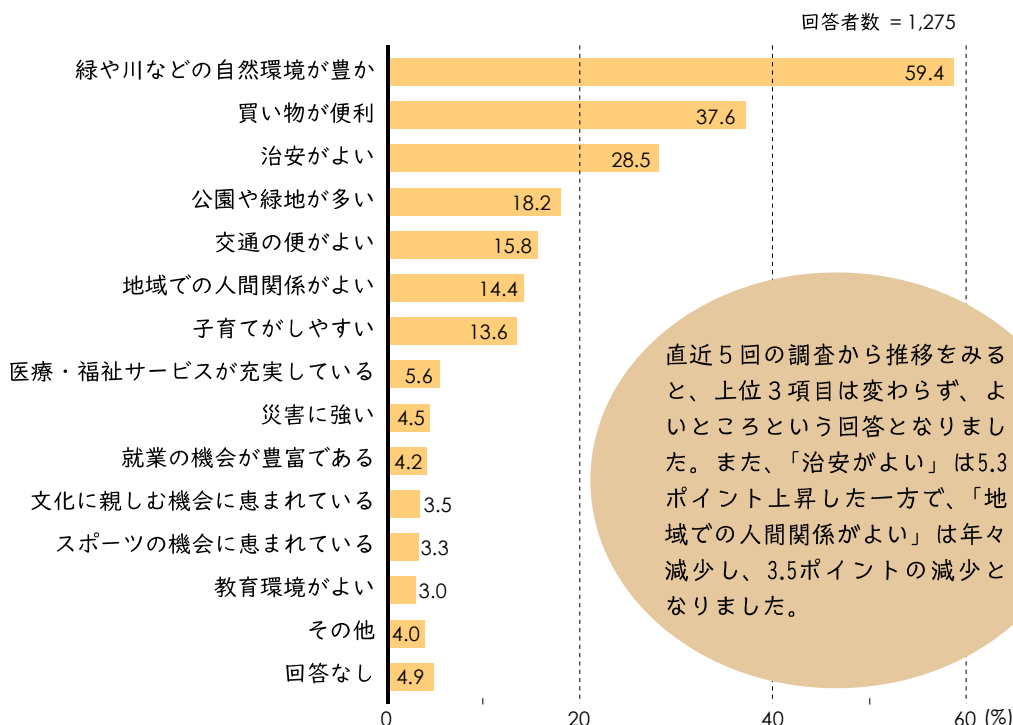
## 特に力を入れてほしい施策

| 項目       | 町の方針や取り組み状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 防災体制の強化  | <p>近年、全国各地で大規模な地震や風水害が発生しており、町でも、令和4年と令和5年に2年連続で浸水による被害などが発生しました。</p> <p>風水害への対策としては、県の事業で菱池遊水地の整備が進められており、令和8年度に完成する予定です。</p> <p>一方、この地域で発生が危惧されている南海トラフ地震に対しては、町だけで対応することは非常に困難であり、家庭や地域での事前準備が不可欠となります。住宅の耐震化や家具固定、備蓄品の準備など、個々でできる対策を呼び掛けつつ、各区の自主防災組織や地元企業、ライフライン事業者と連携しながら対策を進めていきます。</p>                                                           |
| 高齢者福祉の充実 | <p>年々増加している高齢者が、要介護状態になっても住み慣れた場所で自分らしい暮らしを最期まで送れるように、地域が一体となり支援体制を構築する仕組みである「地域包括ケアシステム」の深化を目指します。そのために、医療・予防・介護・住まい・生活支援などの総合的なサービス提供ができるように、サービス提供事業者や医療機関、行政機関などがさらなる連携を深める取り組みを推進します。</p> <p>また、町内に3カ所ある地域包括支援センターでは、高齢者に関するさまざまな相談、必要な介護や福祉に関するサービス、制度の紹介などを行っています。一般介護予防教室や認知症総合支援事業などを通して、要介護状態になることを予防し、自立した生活を続けられるよう、介護予防について普及・啓発に努めます。</p> |
| 医療体制の充実  | <p>令和2年4月に藤田医科大学岡崎医療センターが町から近い場所に開院し、24時間365日救急医療の受け入れができるようになったことにより、以前に比べ医療体制は充実しました。また、通院などの移動支援として、役場とJR相見駅から藤田医科大学岡崎医療センターを結ぶ「藤田乗合直行タクシー」を運行しています。</p> <p>町内で出産できる医療機関がないため、現在まで関係機関へ産科医院の誘致の働きかけを行ってきましたが、実現に至っていません。今後も引き続き、医療関係者との情報共有や協議・調整を進めていきます。</p>                                                                                       |

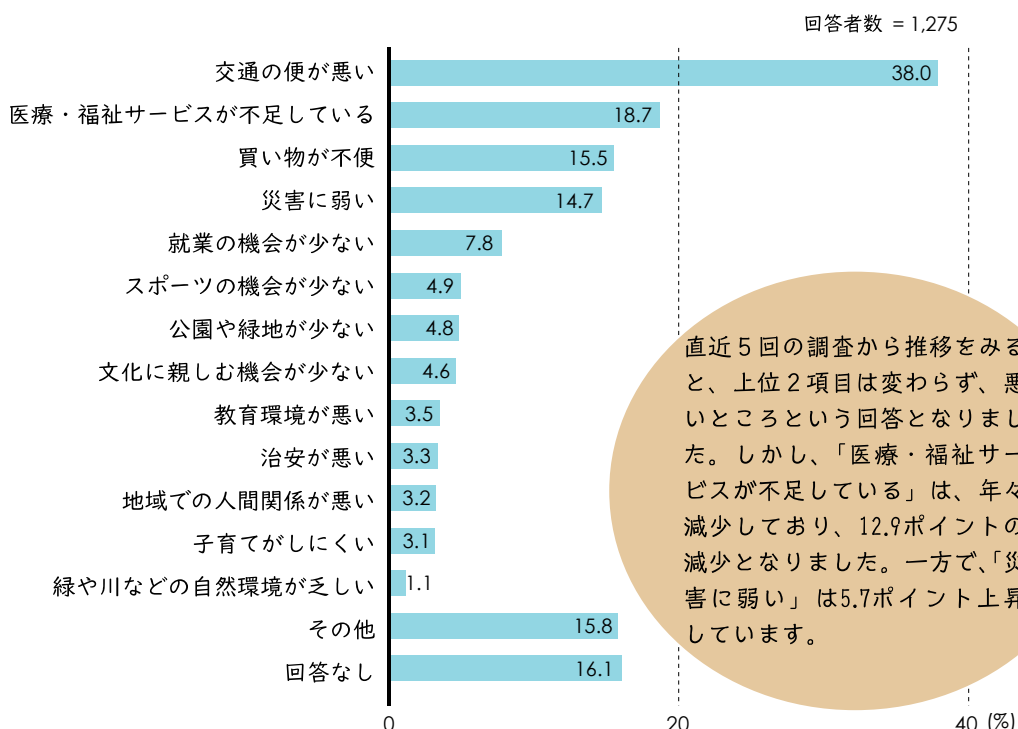


# 幸田町のよいところ、悪いところについて尋ねました

## 幸田町のよいところ（複数回答）



## 幸田町の悪いところ（複数回答）



## 「意見と回答」(抜粋)

**防犯カメラをもっとつけてほしい。**

防犯カメラについては、警察と協議し、犯罪の発生を抑止するために有効と考えられる場所(集落へ出入りするための主要な道路など)への設置を進めており、現在102基が設置されています。防犯カメラの設置にあたってはプライバシーへの配慮も必要なことから、地元や警察と十分に協議する必要があります。

近年、個人宅を狙った侵入盗も発生していますので、犯罪被害に遭わないために、各家庭においても、防犯カメラや、センサーライト、防犯ブザー、補助錠など、あらゆる防犯アイテムを活用していただき、在宅時でも施錠するなど、セキュリティを向上させることが重要です。



**チョイソコこうしたの台数を増やしてほしい。運行エリアを町内全域にしてほしい。**

町内の公共交通については、住民代表や有識者が構成される幸田町地域公共交通会議で議論を行っています。現在運行

中の「えこたんバス」、「チョイソコこうした」の運行の見直しを行うとともに、その他各種交通施策を組み合わせて、より効率的で利便性の高い交通体系の構築を図っていきます。



**空き家対策をしてほしい。**

空き家を、インターネットを通じて広く紹介することで利活用を促進し、定住人口の増加や産業振興、地域の活性化が進むことを目的として、愛知県宅建サポーター株式会社運営による「幸田町空き家空き地バンクポータルサイト」が開設されています。また、併せて空き家などの利活用に関する相談窓口の設置や不動産相談会を開催し、総合的に相談できる窓口を設けています。

**こどもを遊ばせたり、老若男女みんなが利用できる大きな公園があるとうれし。**

現在、幸田中央公園の再整備を行っています。再整備の中で、親子で楽しめる

空間づくりや遊具の更新、健康器具などを整備し、公園の魅力向上を図っていきます。

**人口増加もいいが、自然を大事にしてほしい。**

自然観察会などの環境講座の充実により自然環境にふれあう機会を増やし、住民の自然に対する意識の向上を図ります。また、森林や水辺を、生物の生育・生育環境に配慮したふれあいの場として整備し、活用を図ります。



**魅力ある商業施設ができるといい。**

町では町内の商業事業者に対し、創業や販路拡大を支援するため幸田町産業活性化プロジェクト補助金をはじめとした各種支援を実施しています。町内の商業事業者が一層活気づき、魅力あるマーケットをつくることで、町外から商業事業者の参入も図っていきます。

**女性が働きながら子育てしやすい環境を整えてほしい。**

子育て応援・家事サポート事業、ファミリー・サポート・センター事業、一時預かり事業、病後児保育事業などの子育て支援のための事業を実施しています。今後も働く保護者が子育てしやすい環境の整備に取り組んでいきます。

**地域の奉仕活動が多すぎる。**

地域の奉仕活動を行うことは、活動を通じて、地域住民の繋がりを深め、地域への愛着を持つことで、地域全体の防災力を向上させる上で重要です。しかしながら、世代の違いや価値観の多様化により、多くの意見が聞かれるようになってきています。今後、行政区運営においては、縮小や効率化が求められます。このような流れが地域の防災力の低下などマイナスに働くことのないように、バランスを取りながら推進していきます。

住民意識調査にご協力をいただき、ありがとうございました。調査結果の詳細は町のホームページに掲載しています。

## 問合せ

企画政策課 政策グループ

☎(0564)62-1111(内線334)

FAX(0564)63-5139